平成２２年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校１年　国語　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
①	1	(1)		話すこと・聞くこと１年	ア　話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ること	発表テーマを正しく聞き取ること。		○				○	
②		(2)		話すこと・聞くこと１年	ウ　全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりすること	話し手が自分の思いを聞き手に分かりやすく伝えるために工夫していることをとらえること。		○				○	
③		(3)		話すこと・聞くこと１年	（関心・意欲・態度）	スピーチをするための話題として、自分の心に残ったことや思ったことを話そうとすること。	○						○
④				話すこと・聞くこと１年	ウ　全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりすること	話を聞いて、心に残ったことやそれについての自分の考えを分かりやすく話すこと。		○					○
⑤	2	(1)	①	言語事項　小５年	「たも（つ）」と読むこと	小学校５年配当の「保」を、正しく訓読みすること。					○	○	
⑥			②	言語事項　小６年	「のぞ（んで）」と読むこと	小学校６年配当の「臨」を、正しく訓読みすること。					○	○	
⑦			③	言語事項　小４・６年	「せんねん」と読むこと	小学校６年配当の「専」と小学校４年配当の「念」を合わせた熟語「専念」を、「せんねん」と正しく読むこと。					○	○	
⑧			④	言語事項　小３・６年	「しゅうしゅう」と読むこと	小学校６年配当の「収」と小学校３年配当の「拾」を合わせた熟語「収拾」を、「しゅうしゅう」と正しく読むこと。					○	○	
⑨			⑤	言語事項　小３年 １年	「はくひょう」と読むこと	中学校１年で学習する常用漢字「薄」と小学校３年配当の「氷」を合わせた熟語「薄氷」を、「はくひょう」と正しく読むこと。					○	○	
⑩			⑥	言語事項　１年	「振（る）」と書くこと	中学校１年で学習する常用漢字「振（る）」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○	○	
⑪			⑦	言語事項　小６年	「洗（う）」と書くこと	小学校６年配当の「洗」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○	○	
⑫			⑧	言語事項　１年	「沈（む）」と書くこと	中学校１年で学習する常用漢字「沈」を、文字の形に気を付けて正しく書くこと。					○	○	
⑬			⑨	言語事項　小５・６年	「危険」と書くこと	小学校６年配当の「危」と小学校５年配当の「険」を組み合わせた熟語「危険」を、正しく書くこと。					○	○	
⑭			⑩	言語事項　小２・６年	「補強」と書くこと	小学校６年配当の「補」と小学校２年配当の「強」を組み合わせた熟語「補強」を、正しく書くこと。					○	○	
⑮		(2)		言語事項　１年	(3)-ア　字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書くこと	行の中心の取り方に注意し、紙面全体に対して文字を適切に配置して書くこと。					○	○	
⑯		(3)		言語事項　１年	(1)-オ　単語の類別について理解すること	文の成分である「主語」と「述語」の関係を正しく理解すること。					○	○	
⑰		(4)		言語事項　１年	(1)-エ　話や文章の中の段落の役割や文と文との接続関係などを考えること	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って一文を二文に分けて書くこと。					○	○	

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点					主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		
⑱	3	(1)	ア	読むこと　１年	ア　文脈の中における語句の意味を正確にとらえること	詩の中の語句の意味を表現技法との関連の中でとらえること。				○		○	
⑲			イ	読むこと　１年	ア　文脈の中における語句の意味を正確にとらえること	詩の中の語句の意味を表現技法との関連の中でとらえること。				○		○	
⑳		(2)	ウ	読むこと　１年	エ　文章の展開を確かめながら主題を考えたり要旨をとらえたりすること	詩の情景や作者の心情を理解し、作者の感動の中心をとらえること。				○			○
㉑		(3)		読むこと　１年	（関心・意欲・態度）	詩の情景や作者の心情に合う挿絵を選ぶ理由をまとめようとすること。	○						○
㉒				読むこと　１年	オ　文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすること	詩の情景や作者の心情に合う挿絵を考え、詩についての自分の考えをまとめること。				○			○
㉓	4	(1)		読むこと　１年	ア　文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること	文脈に即して、「ひたすら書く」理由をとらえること。				○		○	
㉔		(2)	ア	読むこと　１年	ア　文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること	「風を入れる」という言葉の文脈の中での意味を正確にとらえること。				○		○	
㉕			イ	読むこと　１年	ア　文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること	「風を入れる」目的を正確にとらえること。				○		○	
㉖		(3)	ウ	読むこと　１年	オ　文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすること	筆者の説明している推敲の方法を読み取り、自分が文章を推敲するときの方法を考えまとめること。				○			○
㉗		(4)		書くこと　１年	ア　身近な生活や学習の中から課題を見付け、自分の考えをまとめること	資料から必要な情報を選択し、自分の立場を明確にして考えをまとめること。			○				○
㉘		(5)		書くこと　１年	（関心・意欲・態度）	資料を使って自分の考えを書こうとすること。	○						○
㉙				書くこと　１年	イ　伝えたい事実や事柄、自分の考えや気持ちを明確にすること	資料の内容を踏まえながら、根拠を明確にして自分の考えを書くこと。			○				○
㉚				言語事項　１年	(1)-エ　話や文章の中の段落の役割や文と文との接続関係などを考えること	文と文との接続関係や正しい表記、語句の用法、叙述の仕方などに注意して書くこと。					○	○	